

2022.2
vol.20

古川町商工会発行
地元事業者を応援する情報誌

く い る どっ

FURUKAWA | KAWAI | MIYAGAWA

巻頭特集

あしたのヒントになるかもしれない

コロナに
立ち向かう事業所



01

株式会社 HIDAIYO

HIDAIYO

地域内での循環が重要

海外から訪れる外国人観光客（インバウンド観光客）に宿泊や体験アクティビティなどを提供している株式会社HIDAIYO。外国人観光客のニーズを捉えることで、順調に事業を拡大されてきましたが、新型コロナウイルス感染症の流行によってその事業環境は一変したそうです。

外国人観光客向けに事業をされているので、新型コロナウイルスによる影響が大きかったかと思いますが？

コロナによる影響で日本国内の外国人観光客数が前年対比で99%減少しました。当社は、まず従業員と地域の安全を考えて空気清浄機の設置などの感染対策を実施した後、日本人向けにSNS広告や、じゃらんなどの旅行予約サイトに登録して、日本人観光客を集客することにしました。しかし、日本人の観光需要は土日を利用した1泊2日が多く、どうしても平日の稼働率は低くなりました。このような状況だったので、新たな事業として町家を改修した「コワーキング※・サテライトオフィス」を始めました。現在は地元の企業が事務所として、他にフリーランスの方にも利用していただいています。ここのサテライトオフィスは内装デザインだけでなく、設置している家具も使いやすさや快適さにこだわっています。アメニティグッズも充実しているので都市部にあるサテライトオフィスよりも満足感を得ただけの施設になっています。なぜ古川にこれだけの施設を作ったかと言えば、僕たちは「起業家支援をしたい」という想いと「町を活性化したい」という想いがあるからです。フリーランスの方や起業家の方、テレワークを推進しているベンチャー企業の方にサテライトオフィスを利用してもらい、都市部と飛騨を行き来することが将来的に町の活性化につながると考えています。

サテライトオフィスはこれからの働き方にあったオフィス形態といわれていますが？

当社はリモートワークを実施していますが、色々な働き方があっていいのかなと感じています。従業員が会社に来ることなく、それぞれ自宅や旅先から仕事をして効率も落ちません。逆にずっと自宅で働く必要はなくて、週の3日は出社して対面の方が効率の上がる会議などの仕事を。残り2日は自宅で働くという柔軟な働き方もできます。働き方改革で従業員の方にフレキシブルな働き方をしてもらう一助として、当社のサテライトオフィスを利用してもらうのも良いです(笑)これからは、多様な働き方が認められることで従業員の満足度が上がると思います。

※コワーキングとは・・・事務所スペース、会議室、打ち合わせスペースなどを共有しながら独立した仕事を行う共働ワークスタイル



アフターコロナに向けて取り組んでいることは？

元々やろうと計画していたことですが、コロナ禍で宿泊業だけでは急激な環境の変化に対応できないとの考えから、予定を前倒して不動産事業（イイYO不動産）を始めることにしました。アフターコロナでは、この地域の方だけでなく県外の方や将来的には海外の方にも、サテライトオフィスを利用してもらいたいと考えています。その場合、海外の方はワーケーションなどの短期滞在での利用になるので、働く時はこのサテライトオフィスを利用してもらい、休日は日本というか飛騨を楽しんでもらう。そして、飛騨が気に入って、飛騨で起業したいという人もいると思うので、その時は永住から何からサポートしたいと考えています。他にも県外の方で飛騨に移住したいと希望される方へは古川の町家を紹介できますし、サテライトオフィスを利用する会員の方がこういうことをしたい、こういった場所を作りたいと相談にみえたときも、不動産取引の許可を持っていればトータルでフォローすることができます。一般にサテライトオフィスは都市部からのアクセス（羽田からの距離や時間）が選ばれる基準になるので、そういった面では他地域と比較して不利です。しかし、飛騨地域の魅力（利便性や地元の飲食店など）とこの施設の魅力を掛け合わせることで他地域に勝つことができると考えています。なので、いかに町並みを維持して魅力的で生活機能のある町にしていくかが地域の課題だと思います。

最後に

観光でもワーケーションでも移住でも、様々なヒトが集まってくると必要なモノが集まってきて循環が生まれます。その結果として、「住みやすいね」「いいね」「働きやすいね」が集まって、この町が「ちょうどいい町」として活性化できれば良いなあと思います。



株式会社 HIDAIYO

address 飛騨市古川町大野町145-1
tel 0577-73-2285



Close up



全力取材！

あしたのヒントになるかもしれない コロナに 立ち向かう事業所

2021年の大河ドラマ「青天を衝け」の主人公、渋沢栄一。「日本資本主義の父」と呼ばれる2024年度に発行される新一万円札の図柄に採擧されています。幕末から明治、大正という日本の一大転換期を生きた人物で、著書「論語と算盤」は、中日ドラゴンズに入団した根尾昂選手の愛読書として話題になりました。新型コロナウイルスによって、私たちの生活、国や企業のかたちが大きく変わった現在は、渋沢栄一の生きた時代と相通ずるものがあるのではないのでしょうか？ 渋沢栄一の言葉に「世の人が元気をなくしており、社会の発展が停滞している。いままでの仕事を守って間違いないとするよりも、さらに大きな計画をして発展させ、世界と競争するのがよいのだ。」とあります。今回の「ぐるっと」は、この言葉から、コロナによって売上が減少するなか、その状況を逆手にとり、新たなサービスを始めた、新たな分野へ進出した、新たなアイディアや工夫を重ねている事業所を特集しました。

コロナ用語の豆知識

ウィズコロナ (with-corona)

コロナウイルスが流行し、その最中で生まれた言葉。共存してどう生活していくかという意味。

アフターコロナ (after-corona)

ウィズコロナを経てコロナ禍の後にどう日常生活を送っていくのかという議論の際に生まれた言葉。基本的にはポストコロナと同じ意味。

ポストコロナ (post-corona)

コロナウイルスが社会に存在することが当たり前前の状態においてこれからどうしていくべきなのかを語るときに使われる言葉。

03

株式会社 飛騨企画販売

HIDAKIKAKUHANBAI

誰かが働きかけなければ
消えてしまう
「先人の知恵を未来へ」

EGOMAJE

EGOMAJE は EGOMA (えごま) と JE (外国で「職人」を意味する言葉) を組み合わせた造語です。EGOMAJE のロゴと一緒にデザインされている赤、黄、青の模様は、えごまの種を包んでいる袋(がく)の形を表しています。えごまはオメガ3系の必須脂肪酸の一つ、αリノレン酸を豊富に含んでいるスーパーフードなんです。と仰る小島社長にコロナ禍での取り組みについて伺いました。

「コロナ前からネット販売に取り組んでみえますが、コロナ禍で変化はありましたか？」

ネット販売自体は、時代にもそっているし、好きな時間にスマホやパソコンを使って簡単に注文できるから、ぐっと伸びているようです。自社のネット販売は『えごま純油』と『えごま純油ソフトカプセル』が中心で、購入されるのは健康を意識している人です。コロナ以前からのお客様もいますし、新しく注文されるお客様もいます。ただ、コロナで直接注文数が増えたとは言いきれません。私はコロナで巣ごもり需要やうち時間が増えたからといって、販売数が増加するものではないと感じています。言えることは、ネットでの健康食品の販売はコロナの影響を受けず、固定客は着実に増えているということです。ゆっくりとですが認知度は上昇しています。



株式会社 飛騨企画販売

address 飛騨市古川町宮城町 881 番地
tel 0577-57-9111



「コロナの流行で気づきがあったそうですが？」

コロナになっていなければ、『えごまのたれ』は生まれていません。2020 年の秋頃に売上が減少して、エンドユーザーが観光客、よそから来る人だということに改めて気が付きました。以前は、観光客に売れば飛騨のえごまを全国に広めることができる「いいぞ。いいぞ」と頑張ってきた。でも、待てよ。これは本来目指すべき地産地消では無いぞって。地元の人でも、若い人ほどあまり食べたことが無い、どうやって食べたら良いかわからない。えごまを作っている人も高齢化で少なくなっている。えごまは体にいいし、飛騨の特産だから、誰かが働きかけて後世に繋げていかないとけない。だからこそ、地元の人に広める、知ってもらうことで使ってもらい消費に繋げていきたい。その考えで普段の料理でも使いやすい『えごまのたれ』を開発しました。

「アフターコロナに向けて取り組んでいることがあれば教えてください。」

うちの元々の仕事は、道の駅やホテルの売店に商品を卸すことです。コロナで観光客がいなくなって、卸売りの売上は大きく落ち込みました。今後、コロナ前と全く同じ状況に戻るには考えにくい。じゃあ、自社の強みって何か？ どうしたらよいか？ 考えに考えて、出てきたのが、地元の人にえごまを広めないといけないという想いでした。そこで、地元の方が多く訪れる【地場産市場ひだ】に出店させてほしいとお願いし、2021 年 3 月に店内に当社の売り場をオープンすることができました。今後、ここを中心に地元の方にえごまの魅力を伝えていきます。

02

瀬戸川酒場 / Banquet 瀬戸川

SETOGAWA SAKABA BANQUET SETOGAWA

ごはん倶楽部

GOHAN CLUB

「お客様に食事を届ける」
ではなく
「手料理の代行」。

女性も働く現代だからこそ、
お昼だけでも
お手伝いできればと。

2021 年 8 月に三周年を迎えた【瀬戸川酒場】

「老若男女の誰もが気軽に入れるようにお店の色を出さない工夫をしてるよ」とお話しただけしたのは、事業主の神田さん。その言葉の通り、フードメニューは 80 種類以上、ドリンクメニューも 90 種類以上あり、年配者からお子様までどなたが来ても飲食を楽しんでもらえる品揃えです。魚介類は能登の漁港から直接仕入れているので、季節の移ろいを感じることができるのもこのお店の特徴です。

「飲食店は、新型コロナウイルスによる影響が大きかったかと思いますが、コロナ禍で新たに取組まれたことがあれば教えてください。」

2020 年は「子育てママ応援弁当」をやりました。初めて緊急事態宣言が出て、女性社員から「小学生の子供の食事をどうしようか悩んでいる」と聞いたのがきっかけです。お店は休業だけど固定費はかかる、それならやってみようと思えました。最初は、そんなに来ないだろうな～と思ってたけど、どんどん口コミで広がって最後は 1 日 70 食くらい。何度か辞めようと思ったけど、子供たちが 200 円を握りしめてお店にくる姿を見て、これは辞めれなくなって(笑)。結局、緊急事態宣言が明けるまで続けました。子供たちの嬉しそうな顔と、お母さん方からお礼の手紙をもらって、少しは地域貢献できたかな～って思ってます。今は、「ごはん倶楽部」という名前で昼食宅配事業をやっています。2020 年の 6 月から始めて最初は 1 日 5 食ほど。今は、平均 80 食。多い時は 100 食、少ない時でも 60 食くらい注文があります。基本は企業向けにお弁当の提供をしています。リピーターがいるのは、それだけ気に入ってもらえている、満足してもらえているのかな、と。



「どのような思いで始められましたか？」

「安くて美味しくないお弁当」を食べるのは作業だ(笑)。午前中に仕事して、昼に作業、午後からまた仕事をする、こんなのは幸せじゃない。お昼休憩、お昼ご飯は仕事の息抜き。息抜きがしっかりできるから午後からも仕事を頑張れる。せっかくなら、その息抜きに温かくて美味しいお弁当を食べてもらって、ほっと一息ついてもらいたい。

「今後はどのように？」

「ごはん倶楽部」はコロナが終息しても事業として成立できるように頑張っています。コロナのような感染症が流行したり景気が落ち込んだりすると、居酒屋で飲み食いするお金って最初に減らされちゃう。でもお弁当は、感染症や景気の影響は受けにくい。だって、奥さんから「今日のお昼は無し」なんて言われることは無いでしょ(笑)。今後どのような状況になるかは分からないけれど、事業として成立させることが目標です。

「最後に」

できれば古川の中で生産から消費まで回していきたい。どのくらい先になるかわからないけれど、古川の中でお金を回すことができれば、子供やお年寄りが幸せになれることに繋がると思う。いずれは、他所から「古川ってすごい」「古川に住みたい」と思わせたい。

合同会社 BALコミュニケーションズ

ごはん倶楽部

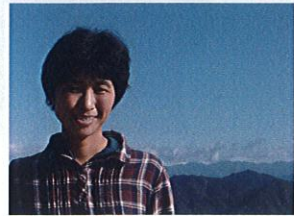
address 飛騨市古川町大野町 145-1

瀬戸川酒場 / Banquet瀬戸川

address 飛騨市古川町殿町 8-3 close 火曜定休

工房すなか

可児市出身の吉真さん。河合町の天然の森に魅了され河合町に移住してきたのが20年前。春は山菜、秋はキノコ採り、冬には漬物や餅を作り、河合町での暮らしを満喫するなかで「このお餅を食べてもらいたい」の思いから始まった工房すなか。もち米は、農業を使わず自家栽培。はざ干し米を釜で蒸したつきたての餅は、他では味わえない絶品です。餅の種類は、8種類。素材の析やあぶらえ、よもぎ、さくら、豆類も地物でまさに飛騨の自然が詰まったお餅です。多くの手間がかかり大変そうですが、その手間さえも楽しむ吉真さんの人柄と笑顔が印象的でした。「まだまだやりたいことがたくさんあるんです」と。餅つき体験などを新しくスタートさせ、コロナ禍が落ち着いたら海外の方にも参加してもらいネイティブの英語を聞きながら地域の方とも交流したいとお話くださいました。



代表/吉真 陽子
業/食品製造業他
住/河合町角川 1436
電/0577-65-2764
HP/https://snacarnival.jimdofree.com
Mail/snacarnival@hida-catv.jp
休/不定休

自然の恵みと命をいただく暮らしを
ありがたく誇りに思っています



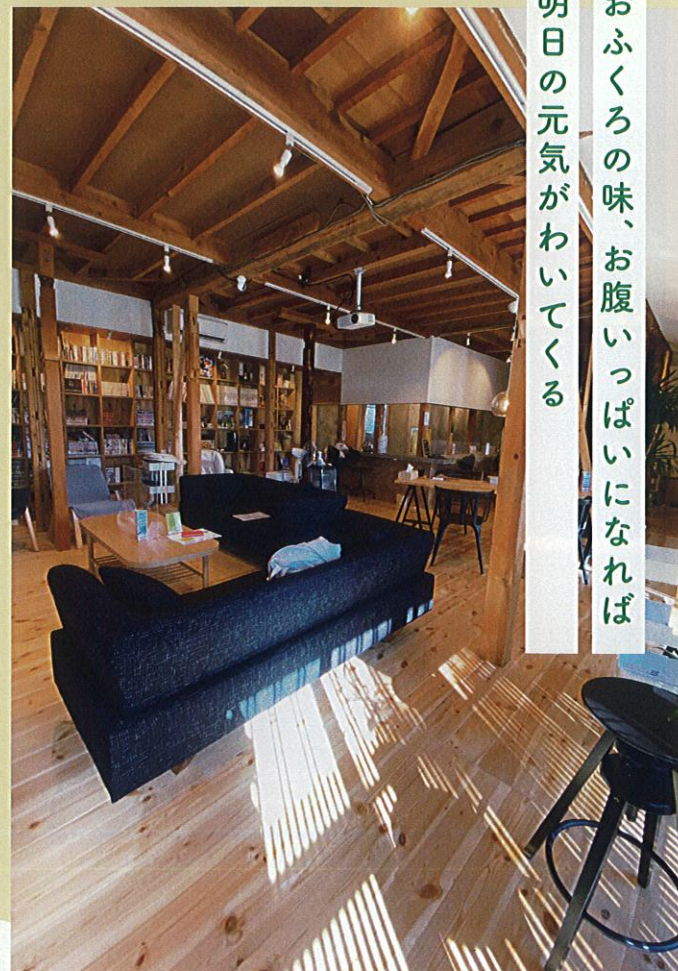
一食堂 ninomae



代表/洞 ひとみ
業/飲食業
住/古川町東町 3-19
電/090-5636-2046
営/テイクアウトの予約時間
当日 10:00 まで
店内飲食 11:30 ~ 13:30
休/火・木・土・日・祝



令和元年10月、やんちゃ屋台村に「一食堂」をOPEN。コロナをきっかけにお弁当の販売を始めました。令和3年2月、息子さんが東町の古民家を購入、リノベーションしたのを期に「一食堂 ninomae」として移転。現在は、月・水・金と営業しています。店名は大好きな本「食堂のおばちゃん」から命名。色鮮やかで見て楽しい、食べて美味しい料理を作る洞さん。食べる事が大好きな息子さんに鍛えられたとのこと。今は店内飲食とお弁当販売をしています。大好評で一日平均50食を販売。ランチタイムにビールの提供をしています。これからも、和気あいあい色々な意見を出し合いながら楽しく美味しい料理を提供出来たらいいなと話してみえました。感染対策ばっちり広々とした明るい店内で、一人時間をお友達とランチを、家族団楽をゆったり過ごしてみたいかですか…。



おふくろの味、お腹いっぱいになれば
明日の元気がわいてくる

モノ&コト

FURUKAWA SCI INTRODUCTION SECTION

地元には、ステキなお店や会社や企業がたくさんあります。
でも…知らなければ、利用することもできない
だから…もっと地元で暮らす人々に、知ってもらいたい
わたしたち商工会が街の魅力を紹介していきます。

協業組合 H・C 建設

平成16年の市町村合併の年に宮川町の建設会社4社が協業合併した会社です。設立にあたって、人間味あふれる (Human) 建設企業 (Constructor) を目指す会社しようとして「H・C建設」と名付けたそうです。仕事の内容は道路改良工事、橋梁工事、河川工事をはじめ、大小問わず様々な修繕工事や、小水力発電事業、森林整備事業、除雪作業など、地域の暮らしを守る幅広い業務を行っています。昨年から就業支援として地元に限らず、遠方からの就職希望の方にWEBでの面接対応や、住まいの斡旋、引っ越し費用の補助などを行っていて、数名の社員の雇用につながっているそうです。「ジモトを創る会社として、一層地域貢献に努めていきたい」と語られました。



代表理事/堂前 弘一
業/建設業
住/宮川町林94番地
電/0577-63-2345
HP/http://hc-k.com/
営/7:30~17:00
(休憩:午前15分、昼1時間、午後15分)
休/4週8休



新しいジモトを、
つくりながら、暮らす

こたわりから生まれる

事業所をご紹介するコーナー

布俣建築

この道53年、大工の仕事を半世紀以上続けてきた布俣さん。木造住宅の改築や、新築などを主に行っており、16歳で高山の親方へ弟子入りして、その後独立。1979年に法人を設立しました。1980年代～1990年代は、家の建築ラッシュだったこともあり、多いときは8人もの従業員を雇用していたそうです。いつも笑顔で、明るい布俣さんは、お会いするところが元気を頂けるような方です。布俣建築のシート看板も遊び心のあるキュートな看板で、布俣さんのように元気がもらえるイラストです。ぜひ見つけてみてくださいね！

代表／布俣 和久
業／建築業
住／古川町黒内 363
電／0577-75-2763



50年以上培われた技術！
レアなイラストも探してみてね



香梅直営の「民宿スマイル」openしました！



代表／塚腰 保人
業／飲食業
住／古川町金森町 15-38
電／0577-73-4035
営／17:00～22:00
休／不定休



香梅

ホロホロ鳥を看板メニューとして先代が開店、創業55年となる香梅さん。ホロホロ鳥はアフリカ産キジ科の鳥で高級食材ですが、低カロリーで女性に人気があります。若いお母さん達から常連のお父さん達まで、とても幅広く、昔から愛されている家族経営の居酒屋です。日本海の幸を自ら市場で品定め、市場直送なので新鮮さに定評があります。フグの調理師免許を持ってみえるのでフグ料理をオーダーする事ができます。又、お寿司や海鮮丼、刺身の舟盛りのテイクアウトもできます。飛騨市には本格的なサッカーグラウンドがありますが、宿泊所が少ないと言われていました。店主自身、サッカーの繋がりがあるので何かできないかと7月1日「民宿スマイル」を殿町にオープンしました。1日1グループ限定1棟貸しのお宿です。スポーツ合宿はもちろん一般宿泊の方も利用できますので、是非予約の上ご利用下さい。



(有) 敷下商店

河合町で唯一の食料品店です。店は正廣さんのお父さんが昭和20年代に魚屋さんから始めました。創業の頃は車で富山まで魚を仕入れに行き背負って行商したそうです。今では移動販売を始めて45年が経ちました。高齢のお客様が主なので店舗では会話を交えて接客。移動販売車ではなるべく家の近くまで行って販売。去年の春から大型の移動販売車を小型にしました。田舎のこじんまりしたお店だからお客さん同士、にこやかに話が弾んだり、色々教えあったりという良い所があります。現在頑張っていることは【減塩】の応援で減塩商品売っています。河合町になくってはならないお店です。



代表取締役／敷下 正廣
業／食料品小売業・移動販売車での販売
住／河合町角川 614-4
TEL・FAX／0577-65-2053
営／8:00～18:30
休／日曜日



河合町民の食糧庫、創業70年。
夫婦二人三脚で頑張っています。



ご遺族に寄り添いながら
故人を安らかに送り送る
お手伝いをします



今では「おくりびと・納棺師」という言葉を耳にするようになりましたが、中田さんは20年も前にこの道を選んだそうです。新規オープンの葬儀場に勤めながら、一から葬儀のことを学ばれました。研修先で納棺師が湯灌(ゆかん)のお手当てをする光景に心を打たれ、知識や技術を熟知するため精魂を傾ける日々を過ごしたそうです。ご遺族の願いや故人の思い出などを聴き入れながら、少しでも心癒されるよう、掛ける言葉一つも注意を払います。また、旅立つ故人が寂しくないようにと、愛らしいお地蔵様のお人形を棺にお入れするサービスも始めました。「ご遺族から、本当にありがたい。いつもの顔になったなー。と言ってもらえると、やり甲斐を感じます。」と中田さん。4月には新事務所を構えるそうです。気軽に立ち寄ってくださいとお話し下さいました。

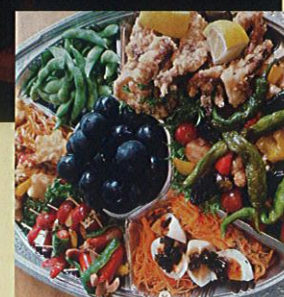
代表／中田 加代子
業／納棺師
電／080-1612-0882
休／年中無休 24時間体制
新事務所／古川町是重 1-5-26



金蓮くこんれん



代表取締役／神出一史
業／カラオケ
住／古川町幸栄町 7-27 シーガルビル 3F
電／0577-73-0435
休／年中無休



カラオケ ベック

18年前に現在の場所、国道41号線沿いにあるラーメン屋さんのビルの3階でオープンされた「カラオケベック」。店内は、懐かしいゲームやコミック漫画が目につきます。店内は他のカラオケ屋さんとは違った雰囲気、解放感ある空間を造り上げています。若者から年配者、家族連れまで気軽に安心して楽しんで頂けます。現在は、新機種のカラオケ機も導入し、お客様の来店を待っていらっしやいます。店内での料理はボリュームたっぷりでお値段もリーズナブルと人気です。コロナで休業中は、お客様との繋がりを大切にしたいという思いからテイクアウト料理を日々勉強し少しでもお客様に喜んで頂けるようにと頑張っているうちに、コロナ前のような営業はまだまだできないとは思いますが、試行錯誤しながら前を向いてお客様の要望に応じて行きたいと神出さんの思いを話して下さいました。

三嶋和ろうそく店

代表／三嶋 順二
業／ろうそく製造業
住／古川町吉之町 3-12
電／0577-73-4109
営／9:30～17:00
休／水・1/1～1/3



創業は元号「天明」約240年前の老舗。7代目の順二さんは、飛騨古川の「顔」としていつもにこやかに観光客に接しています。先代の故・武雄さんが「昭和の顔」なら、順二さんは「平成の顔」。「令和」は・・・？10年前から順二さんの4姉弟の末っ子、大介さん(32歳)が従事しています。大介さんは「不器用なので、父が技術を継いだスピードより遅いと焦りますが、各工程がいつの間にかできるようになっています。』と。順二さんは日々の作業を愚直に行うことで「体の中に入ってしまうという感覚」と話されました。毎日朝4時から作業が始まり夜7時近くまでの、気を抜くことが許されない作業の合間に、大介さんは食事などの家事も行っています。『7年前に母が亡くなり、生前に母から習った「ごっつお」で振る舞いもできます。』「伝統・技術」と「家」を守る大介さんは、清々しく輝いています。



現代に受け継がれた匠の技の結晶

ご意見・ご感想をお聞かせください

Q1. コロナワクチンを接種された方が増えましたが、ご自身の心境に変化はありましたか？

Q2. ワクチン接種が進み、段階的に行動制限が緩和されています。今後、感染対策を取った上で楽しみたいことは何ですか？

Q3. 今号のご感想をお聞かせ下さい。

ちょっと町探検 ♪ ここはどこでしょう？

答え： にある石像

ご協力ありがとうございました。

ちょっと町探検 ♪ ここはどこでしょう？



5月に藤の花が咲き乱れる藤園の近くに立つ石像。古川町の市街地を見下ろす丘の上にあります。石像の近くにある神社の参道は、映画「君の名は。」に出てきた階段だと話題になり聖地巡礼の観光客が多く訪れました。

応募方法

この場所(住所や名称など)が分かった方は、左のハガキに答えを書いてお送りください。ぜひご意見ご感想もお願いします。多数のご応募、お待ちしております。

べ切り
R4.3.15
消印有効

正解者の中から抽選で5名の方に
『古川町商品券 1,000 円』をプレゼント!!

※発表は発送をもってかえさせていただきます。
※答えはべ切り後、商工会HPに掲載いたします。



前号の答え「飛騨市古川町壺之町にある古城橋」でした。

ちょっと紹介 「宮川町と河合町の魅力が良く分かりました」「地元でも詳しく知らない場所もあり楽しく読ませていただきました」「飛騨市っていい所が沢山あるんだなと感じられました」等々コメントをいただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。



皆さんの力になれる仕事を

MAI 国際知的財産事務所

「弁理士」。その主な仕事を説明すると「ブランド・デザイン・技術・著作物などのご相談や出願、交渉」だそうです。40歳になったら何かをしたいと思っていた中、色々なきっかけが重なりこの道へ進まれました。「将来は地元の方の為に」と計画をたて、東京で様々な分野を扱っている事務所で経験を積み一昨年地元に戻って開業されました。出願や申請にはまずその物を理解しなければならないので、知識と勉強が必要です。「自分は飽き性なので色々な分野を知ることが出来て楽しい。事業者の皆さんのプラスになる結果を出し、事業に寄り添った相談を心がけたい」と話して下さいました。日々沢山の分野の勉強をなさる中、息抜きとなるのは散歩や、お茶、読みの時間。飛騨をこよなく愛し、相手の立場に立って考えて下さる池田さん。相談して良かったと思えるお人柄に飛騨は益々元気になっていく気がします。



代表／池田 抄太郎
業／特許事務所
住／古川町向町 1-8-27
電／0577-73-4444
HP／https://mailipo.jp
Mail／info@mailipo.jp
休／土、日、祝日、年末年始 ※お急ぎの場合は対応可



こんな趣味
持ってます

人気連載中!

合名会社 田中屋商店

代表: 田中 大輔

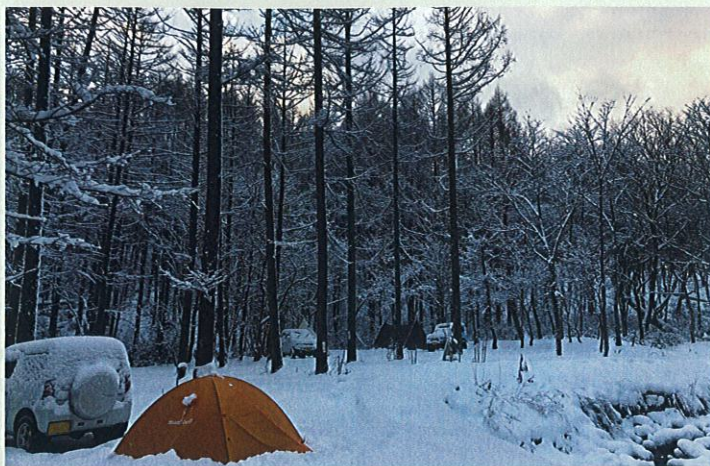
×
キャンプ

合名会社 田中屋商店

住/飛騨市古川町末広町6-14

電/0577-73-2251

https://tanakaya-shoten.localinfo.jp



創業 100 年の田中屋商店。2021 年の 6 月から代表に就任された田中大輔さん。古川町商工会青年部の部長も務める多忙な大輔さんに趣味のキャンプについて伺いました。「8 年位前に初めてキャンプをしたのがきっかけで、毎年同じメンバーでバイクに乗って出かけています。僕は大型バイクに乗っていますが、車で行くキャンプと違ってバイクの場合、積める荷物に限りがあります。だから、どれを持っていくか、どうやって積むか、考えながら荷物を積んでいきます。なので、キャンプギアを選ぶときは、コンパクトに収納できるものや軽いものを選びます。キャンプ用品店で、使い勝手を想像しながらキャンプギアを選ぶこの時間も楽しくて仕方がないです。冬キャンプに行くときは、厳選したちょっと良い寝袋を使っていますが、寝袋の機能が良すぎるのか、気が付くと暑くて下着 1 枚着てこともあります(笑) 早くコロナが終息して気兼ねなくキャンプに行きたいです。」

バイクに乗って行くキャンプが大好きなんです。
気心の知れた仲間と、
焚火を囲んで酒を飲むのは最高です。

ひとこと編集後記 ●三嶋さん親子に、綿々と繋がる老舗に生まれ育った「そなわり」に感動を覚えた取材でした。●建築業界の時代の流れや建材や飛騨のことなども教えて頂きすごく勉強になりました。●コロナ禍で頑張る事業者さんのお話を聞いて、自分も挑戦しなければと思いました。●温かく身も心も休まる居心地のいい場所。素敵な笑顔に癒されました。●こだわりは家族経営。先代の意志を引継ぎながら新しい事にも挑戦。全てはお客様の為に。●古城高校の外壁修理で昔の色になるらしいですが当時の色思い出せません。●「おくりびと」に精一杯取り組んでいる堂々とした姿は、カッコ良くて素敵でした。●自分の大切な物を守る為に力を貸してください。●自然の恵みに生かされた日々の暮らしが、未経験者にとってはスペシャルな経験になることを改めて気づきました。●数下商店さんに取材を快く引受けて頂き新車の移動販売車も見れて有難かったです。

狐の「おこんちゃん」
お気に入り紹介♪

Okon's Favorite Things

おしゃれで丈夫な
クラフトバック

大人気のクラフトバックは、地元
の笑顔がすてきなおじさんが、固く固く編むためにダンベルをぶら下げて作っているこだわりのバックなんやさ。大きなカゴは、スーパーで大活躍。パパッと入れられて重いりんごなどを入れても平気やよ。ピクニックにも最適やなあ。ちょっとお出かけするには小ぶりのカゴで…。財布やスマホも出し入れスムーズ。細々した小物もキチンと収納できるんやよ。色やデザインもオーダーできるので、あなただけのステキなバックを提げて出かけてみんなな。

飛騨古川
さくら物産館

[フリースポット設置店]

住/古川町三之町 2-20[真宗寺様向かい]

電/0577-73-7770

FAX/0577-73-7771

営/10:00 ~ 16:00 休/木曜日

おそれ入りますが
63円切手を
お貼り下さい

509-4221

岐阜県飛騨市古川町若宮2-1-66

古川町商工会

情報誌「ぐるっと」行

〒		—	
住所			
氏名			
電話番号			
年代	代	性別	男 ・ 女

※個人情報商品発送に使用するほか、統計資料作成に利用する以外は、
一切使用いたしません。

古川町商工会 ☎ 0577-73-2624

〒509-4221

岐阜県飛騨市古川町若宮2丁目1-66

https://www.gifushoko.or.jp/furukawa/



facebook